

# “絆”で結ぶ

## 「幸福度の高い」まちづくり



長久手市長  
よしだかずひら  
吉田一平

平成24年1月4日に、市制施行により「長久手市」が誕生しました。

### 歴史と自然、 そして若さあふれるまち

長久手市は、小牧・長久手の戦い（1584年）の古戦場のまちです。「古戦場」をキーワードに平成4年にベルギーのワッテルロー市と姉妹都市提携を結び、交流を続けています。

市域の東部は、豊かな自然環境が残る一方、西部は、区画整理事業による都市基盤整備が進み、大都市近郊の住宅都市として発展しました。名古屋市に隣接し、都市機能を備えながらも、里山や田園風景が身近にあり、住んでみたいまちとして人口が増加しています。そのため平均年齢は県内で最も低く、若さと活気あふれる市です。

また、平成17年の2005年日本国際博覧会（愛・地球博）は市内を主会場に開催され、「長久手」の名は広く知られることとなりました。

愛・地球博の開催にあわせ開通した東部丘陵線（リニモ）は、国内初の磁気浮上式リニアモーターカーで、市民や沿線大学の学生たちとリニモを活用した協働事業を展開しています。

### 日本一の福祉のまちを目指して

本市が目指す日本一の福祉のまちとは、単に施設やサービスが日本一ということではなく、そこに暮らす人たちが支え合う「絆」で結ばれた「幸福度の高いまち」「生きとし生けるものがつながって暮らすまち」です。

まず、市民のみなさんには、自分たちのまちに関心を持っていただくために、市職員が市長に主要施策について説明する「市長レクチャー」を公開で行いました。そして、みんなで知恵と力を出し合って、新しいまちのかたちを創っていく「住民プロジェクト絆」を始動させ、新年度には、市長直轄の推進体制を整えます。また、プロジェクト絆を実行するための



長久手市誕生を祝うリニモ

く仕組みづくりに取りかかり、市民と行政が一体となり推進する「長久手方式」の構築を目指します。

誰もが主人公で一人ひとりの幸福度の高いまち、「日本一の福祉のまち」となることを目指して、長久手市はスタートしました。

ミニ市役所  
というべき、  
地域共生ス  
テーション  
を早期に開  
設し、小学  
校区単位で  
地域の課題  
を見つけて、  
解決してい

### 新市プロフィール



- 人口 5万358人
- 世帯数 2万98世帯
- 面積 21.54km<sup>2</sup>  
(以上、平成24年1月末日現在)

●主要産業・特産品  
真菜、米粉の加工品（ドーナツ・パン・麺など）

●観光名所・旧跡  
長久手古戦場、色金山歴史公園、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）、トヨタ博物館、名都美術館

●行事・イベント  
長久手古戦場桜まつり（4月）、警固祭り（秋・不定期）、ながくて冬まつり（12月～1月）